

白 い ま ど

病院理念

私たちは
利用してくださる方ひとりひとりのために
最善を尽くすことに誇りをもつ

2月号
FEBRUARY 2012

第一期生紹介 EPAフィリピン人看護師候補生



日本・フィリピン経済連携協定 (EPA)に基づき、昨年11月より当院でもフィリピン人看護師候補生5名(男性2名・女性3名)を受け入れております。看護補助業務をしながら、3年以内に日本の看護師国家試験合格を目指しています。



S E I R E I



社会福祉法人聖隷福祉事業団

総合病院 **聖隷浜松病院**



日本医療機能評価機構



医療の良泉助産受産病院

日本医療機能評価機構認定
地域医療支援病院

〒430-8558 浜松市中区住吉2-12-12
☎053-474-2222

発行責任者 病院長 鳥居 裕一

●面会時間 (月～土曜) 14:00～20:00 (日曜・祝日) 10:00～20:00 (小児科) 15:00～19:00

ホームページ <http://www.seirei.or.jp/hamamatsu>

外 来 紹 介

斜視弱視外来



担 当

眼科 医長

にしむら かすみ

西村 香澄

出身地／静岡県

出身校／浜松医科大学(1998年卒)

趣味／家電集め

斜視弱視外来では、小児の視力発達を促すために診断、治療を行います。

生まれたばかりの赤ちゃんの視力は0.01、生後半年で0.2、3才から5才の間に1.0以上となり7才で視力は成熟します。白内障や緑内障などの病気や強い遠視、近視、乱視などの屈折異常が存在すると視力の発達を妨げ弱視となります。そのため、目つきがおかしい、目が揺れる、瞳が白く見える、まぶしがるなどの症状がある場合は早めに眼科を受診して治療する必要があります。

また、斜視に関しては、内斜視では両眼で物を見る力を得るためには2才以内に手術が必要ですが、外斜視ではずっと眼位がずれている以外は術後の眼位が安定することから、大きくなってからの手術が勧められています。

成人の斜視は様々な原因で起こりますが、手術や眼鏡で改善できるものもあるため眼位異常が気になる場合は一度ご相談ください。

特集

治験シリーズ③

がん性疼痛(がんせいとうつう)ってなあに？

新薬ができるまでには「治験」という臨床研究を行います。「治験」とは患者さんにご協力いただき開発中の薬の効果や安全性を確かめる試験です。当院ではよりよい薬が少しでも早く使えるように、治験の活性化に努めています。

がんと痛みについて

進行した状態の悪性腫瘍(がん)では7割ほどの人に痛みが現れます。嫌な症状の一つですが、どうしようもない痛みはほとんどありません。放射線治療、神経ブロックなど先進的な治療法が発展してきたこともありますが、一番

大きな要因はオピオイドと呼ばれる麻薬性鎮痛薬を用いた治療方法の進歩です。

痛みに耐えるのが美德ではありません。また、痛みがあると夜間十分眠ることが出来なくなったり、食欲が落ちたり、イライラしてしまって人に当たってしまいがちです。そういった痛みを抑えることは、日々の暮らしを普段どおり送れるようにする大切な治療です。

痛みの有無や、その程度を測る検査道具はありません。痛みがあることを医師や看護師、薬剤師に伝えることで、初めて痛みの評価が始まります。痛みがあることがわかると、どれくらいの痛みであるのかを調べます(話し合う中で評価していきます)

痛みの評価について



す)。11段階の痛み評価(痛みが全くない状態を0、これ以上考えられないくらい強い痛みを10とした場合どれくらいの痛みなのか、その数字を答えていただくことで調べる痛み評価です)を用います。また、痛みがあることで出来なくなったこと(眠りづらい、家事ができない、散歩が出来ない、新聞を読む気がしない、などです)をお聞きます。11段階痛み評価と暮らしやすさで薬が効いたのか、効果が十分なのかを調べます。

くすりの種類について

痛み止めの薬には非オピオイド、弱オピオイド、強オピオイドの種類があります。

始めに非オピオイド(消炎鎮痛薬)を用います。風邪をひいたり歯が痛かったりした場合に使う薬と同じです。非オピオイドで効果が乏しい場合、それに弱オピオイドを加えます。弱オピオイドにはコデイン、トラマドールなどがあります。弱オピオイド

を加えても十分な鎮痛効果が現れない場合、弱オピオイドを強オピオイドに切り替えます。強オピオイドにはモルヒネ、オキシコドン、フェンタニル貼付薬があります。

がんの治療と痛みについて

こういった痛みに対する治療と並行して、多くの場合がんに対する何らかの治療を行います。治療には化学療法やホルモン療法、分子標的療法といったがん薬物療法があります。その他にも、痛みの部位への放射線治療、神経ブロックを行っていきます。その治療効果

がうまくでると、オピオイドや非オピオイドの量を減らせますし、中止できる場合もしばしばあります。

化学療法科/金 容吉

募集中の治験

2012年1月1日現在

疾患名(症状)	診療科
がん性疼痛	緩和医療科・化学療法科
定型欠神発作 強直間代発作 部分発作	てんかんセンター
関節リウマチ	膠原病リウマチ内科
進行・再発乳がん	乳腺科
脳梗塞	脳卒中科
筋萎縮性側索硬化症	神経内科

★治験では参加基準や参加予定患者数があり、参加基準に合わなかったり募集期間内であっても予定人数に達した場合は治験に参加頂けないことがあります。

お問い合わせ先

臨床研究管理センター

☎ 053-474-1264 (直通)

月～金曜 9:00～17:00 土曜 9:00～12:00 (祝祭日を除く)

血管撮影・インターベンション専門 診療放射線技師

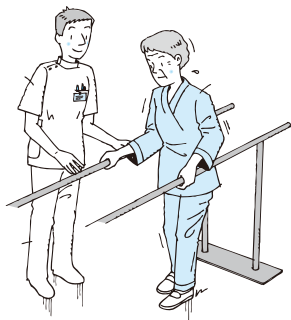


血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師は、カテーテルを用いた血管造影検査・血管内治療に従事する放射線技師の中で臨床経験を3年以上積み、更に認定機構が実施する試験に合格する事で認定されます。現在は脳血管障害・心筋梗塞・先天性心疾患・肝細胞癌など全身の様々な疾患に対して血管造影検査・血管内治療が行われており、当院では5名の専門技師が専門的な知識・技術を活かして検査・治療の支援を行っております。

また血管造影はレントゲン撮影に比べ長い時間放射線を使用する検査となるため、血管撮影装置の品質保証・管理、そして放射線線量の最適化にも専門技師が関わっています。

今後も私たちは患者さんに安全な血管造影検査・血管内治療を受けて頂けるようにチーム医療の一員として、質の高い医療を提供していきます。

「がんのリハビリテーション」



がんにかかる方が年々増加しています。一方治療法の進歩によりがんの患者さんの生存率は改善し、「がんとともに生きる」方が増えています。多くのがん患者さんが病気だけでなく様々な体の障害を抱えています。病気に対する治療だけでなく障害や生活に対するアプローチ、すなわちリハビリテーション（以下リハビリ）が必要です。

がんそのものや治療に伴う体力低下、筋力低下、関節の運動障害、呼吸機能障害、摂食・嚥下障害（飲み込みの障害）などなど、様々な障害があります。これらに対し回復を目的としたリハビリを行います。また、障害が起こる前の予防的なリハビリも重要です。症状が進行してしまい動くことも難しくなった時期でも、リハビリにより「少しでも歩きたい」「トイレだけは自分で行きたい」などの患者さんのご希望を支えます。

がんのリハビリについてのお問い合わせはリハビリテーション科外来にて受け付けております。